

情報伝達、安全確保など検証へ

今後の防災行政に貴重な教訓

「防災に関するアンケート結果から」

1. お住まいの地区は、大雨の際にどのくらい危険を感じていますか。
※各項目の数字は、町（地域）ごとの回答数に対しての割合

(1) 浸水被害に対して危険を感じられている割合

調査対象区分	安全		ある程度安全		安全とも危険ともいえない		ある程度危険		危険		わからない	
	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民
市全域	4.2	10.4	25.0	30.3	16.7	22.8	29.2	20.0	25.0	11.8	0.0	4.7
神埼町(山間地域)	0.0	21.9	16.7	29.4	0.0	18.2	50.0	17.1	33.3	11.8	0.0	1.6
神埼町(他の地域)	7.1	8.7	21.4	31.3	7.1	20.6	28.6	22.6	35.7	12.5	0.0	4.3
千代田町	2.0	6.9	28.6	31.4	30.6	28.9	22.4	16.3	16.3	9.9	0.0	6.5
脊振町	0.0	20.3	33.3	24.6	11.1	13.8	55.6	25.4	0.0	13.8	0.0	2.2

(2) 土砂災害に対して危険を感じられている割合

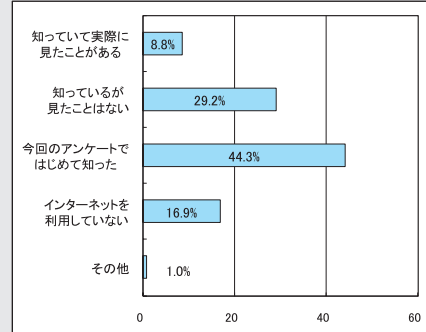
調査対象区分	安全		ある程度安全		安全とも危険ともいえない		ある程度危険		危険		わからない	
	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民
市全域	52.1	42.9	12.8	25.8	8.5	11.2	13.7	8.6	11.1	6.5	1.7	5.0
神埼町(山間地域)	0.0	23.2	0.0	23.8	16.7	17.3	16.7	15.7	66.7	15.7	0.0	4.3
神埼町(他の地域)	53.7	46.2	13.0	27.7	7.4	10.5	18.5	6.5	7.4	4.3	0.0	4.9
千代田町	66.7	53.9	16.7	24.2	6.3	10.1	0.0	3.7	6.3	2.0	4.2	6.1
脊振町	0.0	4.6	0.0	24.1	22.2	14.8	55.6	29.1	22.2	24.5	0.0	3.0

大雨の際の危険性については「浸水被害」「土砂災害」ともに、一般市民に比べ、区長・施設長の方が、より強く感じているという結果が出た。また、当然のことながら山間部では土砂災害、平野部では浸水被害の危険性を感じる人が多かった。

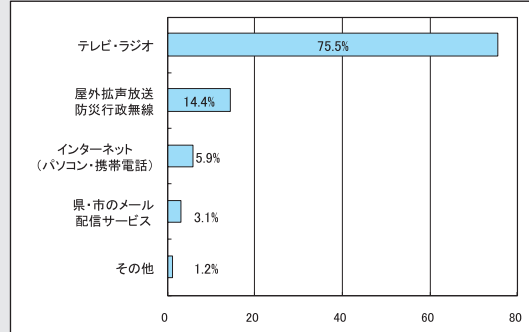
回答状況
区長・施設長 128人中121人(94.5%)
市民 10,784世帯中2,459世帯(22.8%)

2. 災害時の情報収集方法について【市民からの回答】

市のホームページに防災情報が掲載されていることを知っていましたか。



災害時の情報をどのようにして得ていますか。



災害時の情報は「テレビ・ラジオ」から得たという答えが75.5%を占め、屋外拡声放送・防災無線は14.4%だった。また市のホームページに防災情報が掲載されていることは4割以上の人が「今回のアンケートではじめて知った」と答えた。

3. 「中国・九州北部豪雨災害」において、行政からの情報は十分提供されましたか。

(単位：%)

調査対象区分	十分得ることができた		十分ではないが得られた		必要な情報を得られなかった		ほとんど得られなかった		全く得られなかった		その他	
	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民
市全域	17.1	12.7	55.6	62.4	8.5	11.9	11.1	9.6	4.3	2.1	3.4	1.3

行政からの情報については「十分得ることができた」「十分ではないが得られた」と答えた人を合わせると、区長・施設長、市民とも7割以上に上った。

4. 「中国・九州北部豪雨災害」における避難勧告及び避難指示について

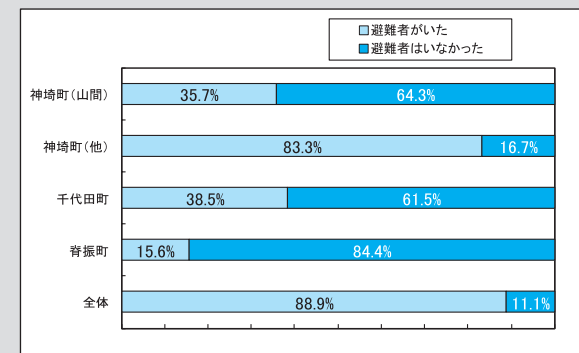
(単位：%)

調査対象区分	適切だった		どちらともいえない		早かった		遅かった		発令されたのを知らなかった		その他	
	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民
市全域	48.0	33.6	17.6	33.9	5.9	4.1	6.9	4.5	21.6	21.0	0.0	2.9

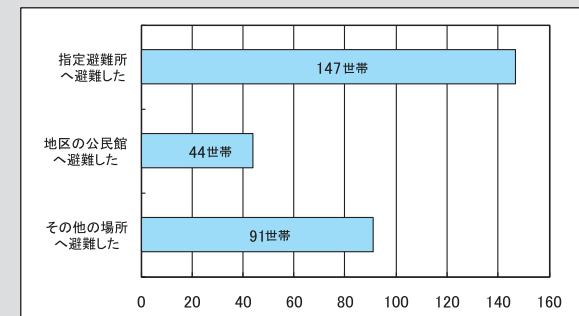
避難勧告と避難指示の発令時期については、区長・施設長の半数近く、市民の3分の1が「適切だった」と答えたが、「発令されたのを知らなかった」という回答も2割に達した。

5. 「中国・九州北部豪雨災害」の際の避難者について

【区長・施設長からの回答】避難された方がいましたか。



【市民からの回答】今回の災害で避難をされましたか。



脊振町と神埼町の山間部では避難者がいた地区が8割を超え、市全域でも3割を上回った。また、市民からの回答で282世帯から「避難した」という答えがあったが、3分の1は指定場所以外への避難だった。

6. 大雨による災害が予想される場合には、行政の判断を待たずに避難すべきだと思いますか。

(単位：%)

調査対象区分	するべきだと思う		どちらともいえない		するべきだとは思わない		わからない	
	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民	区長 施設長	市民
市全域	62.2	53.9	28.6	33.6	6.7	6.6	2.5	5.9

大雨による災害が予想される場合に、行政の判断を待たずに避難すべきと答えた人が、区長・施設長で6割、市民でも5割を超えた。特に山間部で割合が高かった。

7. 「中国・九州北部豪雨災害」における建物の被害状況【区長から回答】

(1) 住居

(単位：棟)

	床上浸水	床下浸水	全壊	一部損壊
市全域	1	61	0	6
神埼町(山間地域)	1	12	0	2
神埼町(他の地域)	0	47	0	1
千代田町	0	0	0	0
脊振町	0	2	0	3

(2) その他の建物

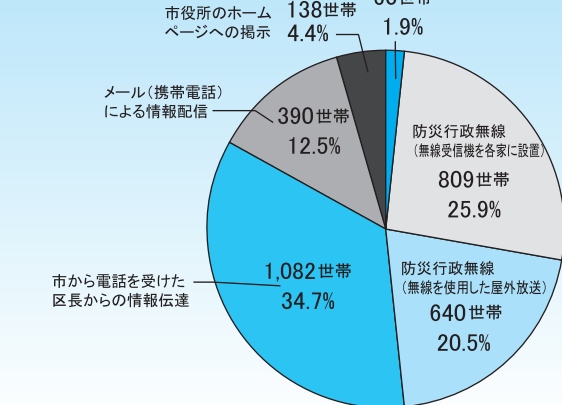
(単位：棟)

	床上浸水	床下浸水	全壊	一部損壊
市全域	2	36	4	7
神埼町(山間地域)	0	8	0	2
神埼町(他の地域)	0	28	3	2
千代田町	0	0	0	0
脊振町	2	0	1	3

8. 災害時における市からの情報提供について

市が情報を提供するにあたり、どのような方法が良いと思われますか。

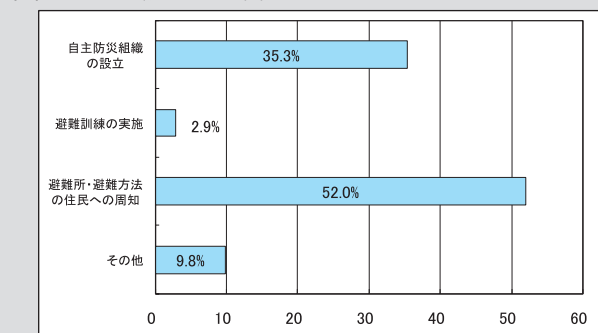
【市民からの回答】



市からの情報提供手段としては、防災行政無線が良いとする答えが46%に上り、特に「無線受信機を各家に設置」が26%を占めた。また、区長を通じての情報伝達も3分の1以上だった。

9. 災害に備えて、準備・実行していることがあれば教えてください。

(1) 区長・施設長からの回答



(2) 市民からの回答

